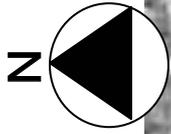


投資事業評価調書(新規)

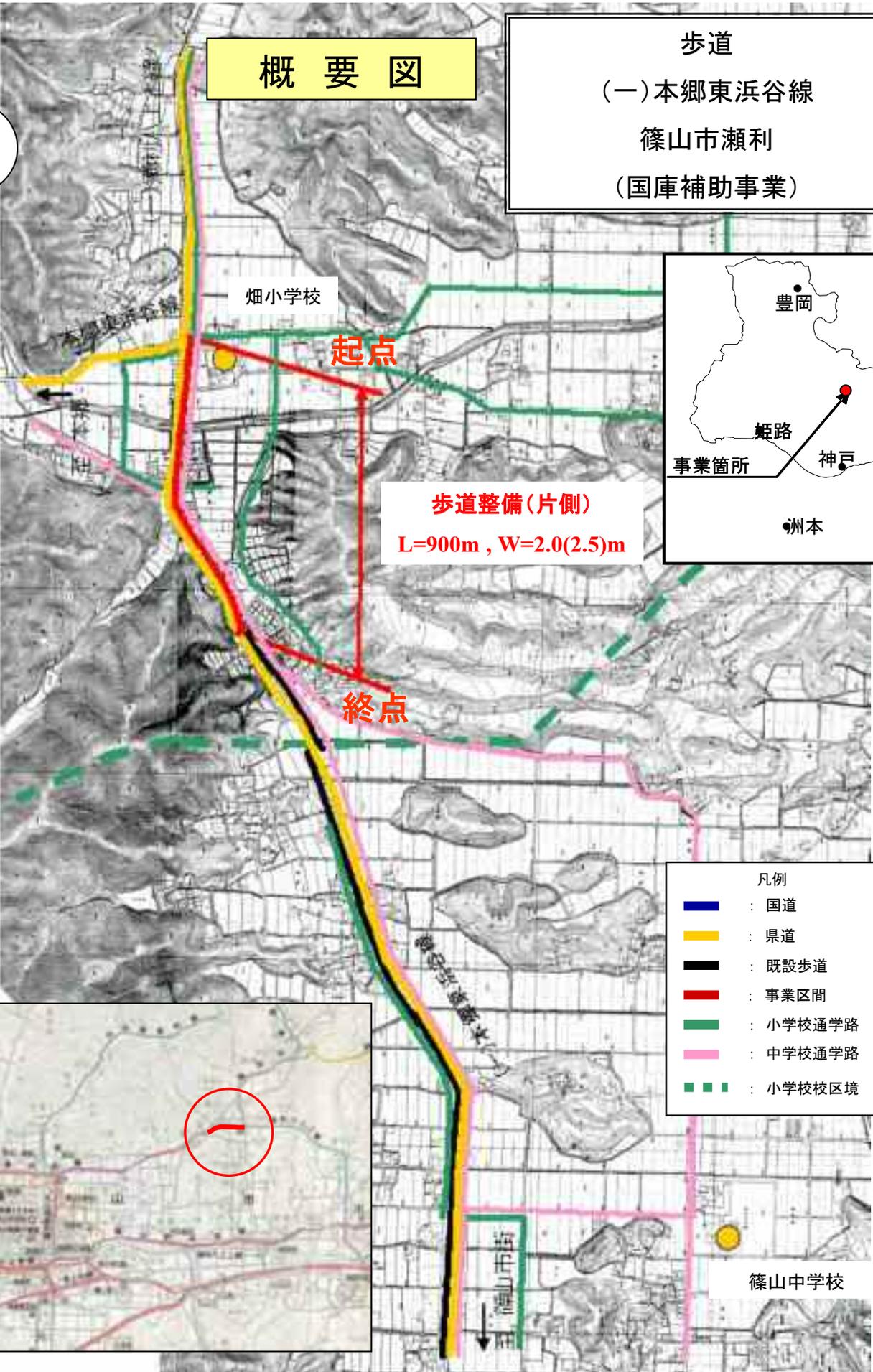
課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 藤井 良啓 (交通施設係長 中尾 兼人)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 3.2億円 (内用地補償費約 1.5億円)
		交通安全施設等整備事業 (一) 本郷東浜谷線	篠山市瀬利		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
篠山市瀬利				平成21年度	平成24年度
事業目的			事業内容		
<p>当該区間には歩道がなく、小学生は大きく迂回を余儀なくされている。また、交差点の形状が悪く交通事故が多発している。そこで、通学路となる歩道整備を行うとともに、交差点改良を併せて行い、地域の安全な暮らしを守る。</p>			<p>歩道整備 (片側) L = 900 m W = 2.0m (2.5) m 現況 歩道無し (負担割合 国1/2 県1/2)</p>		
評価視点					
(1) 必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該区間は、旧篠山町中心部の東部に位置し、沿線には小学校が立地する ・ 当該区間は小学校への最短経路であるものの、歩道が無いため通学路は大きく迂回している。(小学生21人) ・ 篠山中学校への通学路となっている。(中学生12人) ・ 自動車 1,838台/日、歩行者42人/12hr、自転車63台/12hr。 ・ 瀬利交差点は、東西の県道の法線が合っていない為、見通しが悪く、走行性にも問題があることから、交通事故が多発している。(過去5年間に人身事故5件)。 			
[周辺状況]					
[交通状況] [交通事故]					
(2) 有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道整備により、歩行者・自転車の安全が確保される。 ・ 小学校までの歩道の連続性が確保される。 ・ 住民参加による交通安全総点検を実施し (H20.4.17実施)、歩道の必要性について地域の理解を得ている ・ 事業計画等について、地元自治会と合意しており、円滑な事業執行環境が整っている。 			
[効果] [事業執行環境]					
(3) 環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。 			
(4) 優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校近接地であるが歩道が整備されていないため、安全で安心して通行できる歩道を早期に整備する必要がある。 			



概要図

歩道
(一)本郷東浜谷線
篠山市瀬利
(国庫補助事業)

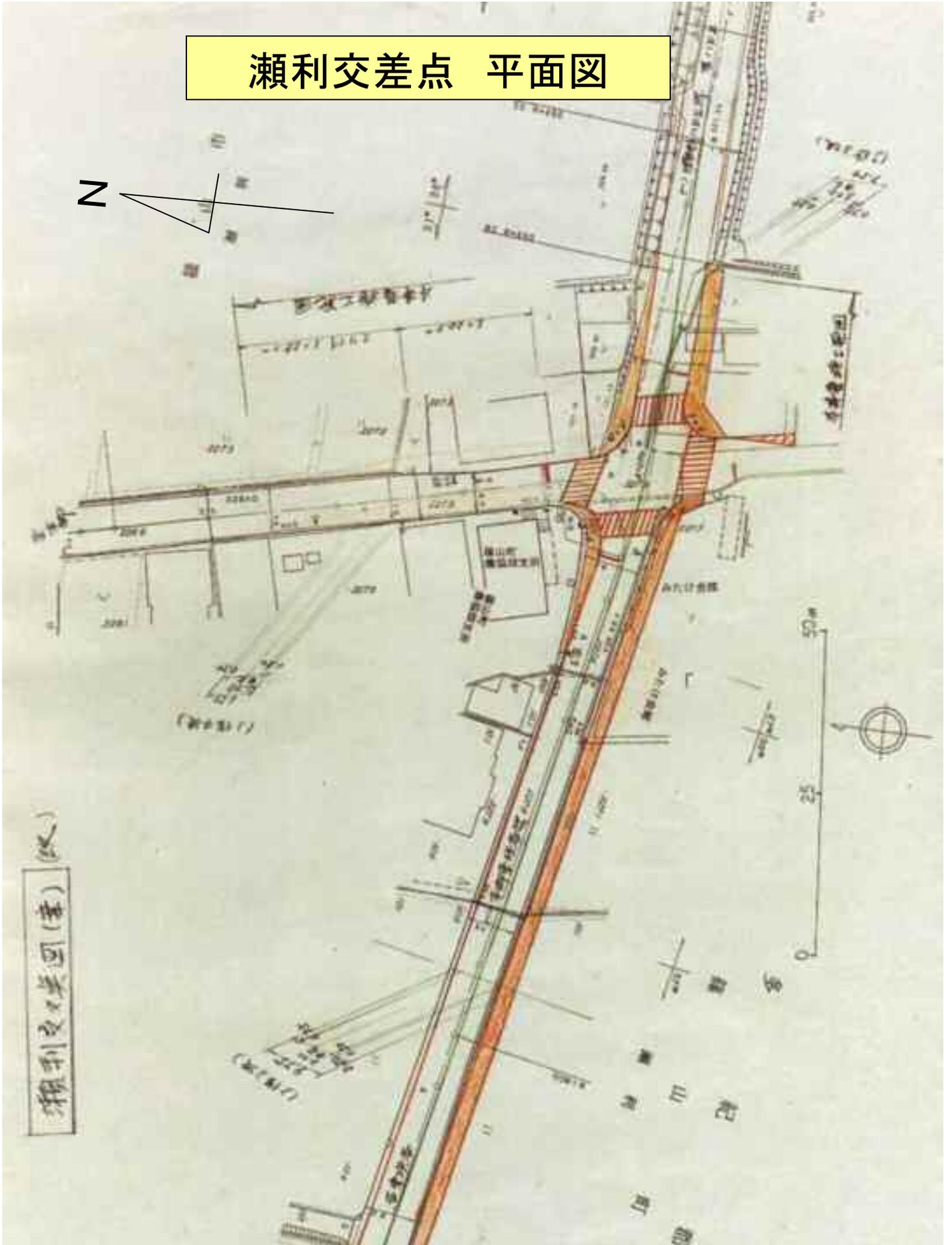


歩道整備(片側)
L=900m, W=2.0(2.5)m

- 凡例
- : 国道
 - : 県道
 - : 既設歩道
 - : 事業区間
 - : 小学校通学路
 - : 中学校通学路
 - : 小学校校区境



瀬利交差点 平面図



瀬利交差点(音) (改)

通学状況



市道に迂回して通学する小学生



通学状況

事業区間を迂回して通学する小学生



事業区間を迂回して通学する小学生



起終点状況

起点



終点

